

## サングリック

法面を保護し、植生の発育を助け、法面自体の自然安定を図る法枠工部材



- ① 法面に枠を積み上げることにより、構成されるフランジが水みちの役目を果し、法表面上の水を法下に排水することによって、枠工初期の雨水等による法面の浸蝕、崩壊等の原因を除去します。
- ② 枠体は安全性、耐久性に優れた木材保存剤を加圧注入した木材によって作られており、保存効果とともに、現地における作業性に富んでいます。
- ③ 枠内植物の発育過程において、枠体である木材の保水性により、水分の自然補給が行なわれ、植物の発育を促進するとともに、枠の日ヤケによって植物の根を傷める等の被害はありません。
- ④ 法枠工部材は、法面自体が自然に安定するまでの一時的補助としての役割をもつもので、サングリックは、植生が安定した後には自然に土壌へ帰属（腐朽）し、その植生が最もよい発育の場を作り出すことになります。
- ⑤ 法枠施工後直ちに苗木を植え付けて、早期に樹木の発育による緑化が可能であるとともに、枠体は軽量で枠組み自体が足場となる等、作業性に富んでいます。

